

医療機関各位

富岡地域医療事務組合 公立富岡総合病院
院長 佐藤 尚文

造影MRI検査前の血清クレアチニン値確認のお願い

平素より大変お世話になっております。

この度、MRI用造影剤（ガドリニウム製剤）の添付文書改訂があり、従来よりも腎機能についての検査前の確認が強調された内容となりました。

数年前、ガドリニウム造影剤投与後の腎機能低下患者に、副作用である腎性全身性繊維症（NSF）が発症し、大きな問題となりました。

腎性全身性繊維症（NSF）の報告以後、造影MRI検査でも、腎機能について十分注意が払われるようになりました。その結果として、本邦では、ガドリニウム造影剤投与による腎性全身性繊維症発症の報告はこの2年間は1例も報告されていないのが現況です。

そこで、造影MRIを予定している患者の場合には、必ず血清クレアチニン値を確認し、診療情報提供書に血清クレアチニン値を記載し、お知らせ頂きますようお願い申し上げます。

また、造影CTの場合にも、従来同様血清クレアチニン値をお知らせ頂ければ幸いです。

何卒、よろしくお願い申し上げます。

放射線科主任医長 前原 康延

医療機関各位

富岡総合病院放射線科における造影検査はeGFR値による、造影剤使用ガイドラインに基づき行なっております。Crの記入をお願いします(当院で、計算式によりeGFR値に変換いたします)。より慎重な対応が必要と判断された場合には、検査を単純のみとさせて頂いたり、または補液をするなど被験者に合わせた対応を行わせて頂きます。

富岡総合病院 放射線科 造影剤使用ガイドライン

(被験査者が慢性腎障害がある場合と、急性腎不全・透析を行っている場合とに分かれますのでご注意ください。)

○慢性腎障害の場合

		造影CT	造影MRI
eGFR	45以上(正常値も含む)	飲水(コップ2杯程度)	飲水(コップ2杯程度)
	44-30	造影前生食500mlなどの補液を考慮	飲水(コップ2杯程度)
	29以下	やむを得ない場合に限る	造影禁忌

○急性腎不全・透析を行っている場合

造影CTはやむを得ない場合に限る。

造影MRIは禁忌。

※CT造影MRI検査前の飲食については、次のようにしていただきたいと考えます。

①検査直前の食事については、従来同様、水溶物のみとし固形物は避ける
(誤嚥のリスクを避けるため)

②牛乳卵は避ける(胆嚢が収縮するなど画像の評価が難しくなる)

③砂糖、ジュース類は問題ない。

○午前中の検査予定患者の場合、朝食は水溶物のみとする。

検査予定時間の1時間前にはコップ2杯程度(400-500ml)の飲水を行う。

○午後の検査予定患者については、朝食は通常通り。昼食は水溶物のみとする。

検査予定時間の1時間前にはコップ2杯程度(400-500ml)の飲水を行う。

当院では、積極的に飲水を勧めていただいている事などもあり、現在まで重篤な造影剤の副作用はほとんど発生していません。引き続きご配慮のほどお願いいたします。

2012年12月12日

公立富岡総合病院 放射線科

TEL.0274-63-2111